

関西学院大学社会学部卒業。女性誌のライター、FMラジオ番組の構成作家などを経て、現在は戦争や東アジアの近現代史について取材活動や執筆を続けている。

『ルポ 悼みの列島』（社会評論社）で2010年「第16回平和・協同ジャーナリスト基金賞奨励賞」受賞。

近著に『いま、話したいこと～東アジアの若者たちの歴史対話と交流』（子どもの未来社）。共著に『戦争のつくりかた』（マガジンハウス）他。

ライター

室田元美氏

慶應義塾大学文学部卒業。筑波大学大学院修士課程修了。日本航空機内誌「ウインズ」編集部チーフエディターを経て、フリーランスに。2001～04年「スプリングボード」（青年海外協力協会発行）編集長・編集委員。現在は主に単行本を企画・編集。代表作に『難民と地雷』全3巻（小林正典著、草土文化）、『忘却に抵抗するドイツ』

（岡裕人著、大月書店）、『「ホロコーストの記憶」を歩く』（石岡史子他著、子どもの未来社）等。

編集者

北川直実氏

70年の時空を超えて出会う若者たち ～ 戦争体験を次世代へ、世界へ～



担当の学生スタッフから

お二人は、戦争というテーマに、体験者15人の証言を読んだ今の若者が手紙を書くという、新しいスタイルのアプローチをした本を作り出した方達です。皆さんは今までに、どんな方法でこの難しいテーマに向き合ってきたのでしょうか。講演を聴けば、新しいアプローチの仕方ができるかもしれません。